

ロッチデール公正先駆者組合記念館の改装 —新たな歴史の始まり—

国際協同組合年である今年の秋、ロッチデール公正先駆者組合記念館がリニューアル・オープンした。マンチェスターの北東にある隣町ロッチデール、トードレーンにその記念館は建っている。

改装によって、店舗の建物に接続する螺旋階段とエレベーターが取り付けられた棟が新たに建設された。足の不自由な人や高齢者など、どのような人であっても館内を気軽に見学できるよう、工夫が施されたようだ。

建物のエントランスを通過するとまず迎えてくれるのが、先駆者組合の店舗内を模した売り場である。バターやオートミール、計量器などが設置されており、1844 年の開店当時の様子が再現されている。さらに奥の部屋へと進めば、協同組合の歴史が綴られた展示物が並んでいる。静的な展示物に留まらず、豊富な知識を有した 3 名のガイド職員による説明やムービー上映なども行われているため、飽きることなく館内を見学することができるであろう。

2012 年、協同組合は 1 つの岐路に辿りついた。ロッチデール公正先駆者組合から始まった現在の協同組合は、今後、時代の変化に伴って方向性を見直していかなければならない。そのことを明示しているのが、ICA マンチェスター臨時総会で打ち出された『2020 年の挑戦』の計画案である。協同組合が今後どのよう



な歴史を刻み、そのレコードとして記念館に残されていくのか、見守っていききたいところである。

(関西大学大学院 堀江智子)